

A character with dark hair and red eyes, wearing a dark uniform with a peaked cap and a high red collar, is surrounded by numerous large, red, fleshy, tentacle-like structures. The background is a swirling purple and white mist.

どうやら取り囲まれてしまったようですね。
とはいえ舐る事しかできない低級魔物に過ぎません。

攻撃力は皆無でスーツは無傷。
平常心を保ちさえすれば問題は無いはずです。



私としたことが……
こんなにもしつこく舐られてしまつては……！

ここを抜け出す事さえできれば……
卑しい魔物など一匹残らず駆除して……！

凹凸のある舌先を粘液で滑らせ敏感な部分を舐り続ける。
単純ながらも強烈な快楽に意識が曖昧になり堕ちかけながらも
自らの信念を歪めずアサツキは自我を保ち続けていた。

しかし体勢を強引に変えられ背筋をなぞるように舌が這うと
言い合わせられないような感覚が体中を走り、その信念を拉げていく。





これ以上の劣情を催してしまったら私は……

こんな体勢で……
無限に舐り続けるつもりなのですか……。

長時間に渡り、魔物たちから舌での奉仕を全身で受け続けるアサツキ。
快楽と絶頂の大波の中で、徐々にゆっくりと自尊心が削ぎ落ちていく。



数で囲い込み舐め回すだけの卑しい魔物相手に無様に絶頂を繰り返す。
これが今置かれているアサツキの言い訳しようのない現実であった。
どれだけ気を強く持とうとも脳裏を埋め尽くす快楽が彼女の心を蝕み続ける。

A character with dark hair, wearing a black uniform with a peaked cap and a red flower emblem, is shown from the chest up. They are surrounded by a chaotic sea of thick, viscous liquids in shades of red and purple. The liquids are dripping and splashing, creating a sense of intense, overwhelming sensation. The character's face is partially obscured by the liquid, and they have a slightly pained or overwhelmed expression.

巫山戯るなあ……
そのような舐め方は感じすぎてえ……!!

卑怯です……こんな快楽はあ……
魔物の舌如きに……こんな醜態をお……!!



巫山戯るなあ……
そのような舐め方は感じすぎてえ……!!

卑怯です……こんな快楽はあ……
魔物の舌如きに……こんな醜態をお……!!











